

闘争支援の強化を!

JAL解雇裁判、乗員・客乗ともに不当判決



国鉄労働組合 東海エリア本部
東京都港区新橋5-15-15 交通ビル4階
発行責任者 渡邊良成
編集責任者 細木義孝

日本航空に解雇撤回を求めた乗員と客室乗務員の裁判で東京地裁は3月29・30日に解雇無効の訴えを棄却する不当な判決を出した。原告は、不当な判決に対して、空の安全と労働者の雇用を守るため、控訴して闘い抜く決意を表している。

会社主張そのもの

今回の裁判は、「人員削減の必要性」「解雇回避の努力」「解雇対象者の選定の合理性」「手続きの妥当性」の整理解雇4要件が争点となっていた。しかし、判決は、会社側の主張をそのままに解雇権の乱用ではないとするものであった。



結成総会で決意を述べる原告

支援の強化を!

乗員、客室乗務員の両原告団は、判決直後に控訴の決意を固め、国労本部や東海本部にも支援の要請があり、国労本部からは支援に向けた指示が出された。また、国労東海本部も加盟する日本航空の不当解雇を撤回する国民支援共闘会議は4月5日に総会を開催し、全国的な運動を展開し、原告全員の職場復帰を目指す闘いを展開することを決定した。

支える愛知の会結成

3月31日、「不当解雇とたたかう日本航空労働者を支える愛知の会（JAL解雇撤回愛知の会）」の結成総会が開かれた。会場には70人を超える人たちが

が集まり、東京地裁の不当判決の内容について、弁護士からの説明を聞き、怒りを新たにしたり。原告からは4名が参加し、代表して清田均原告団事務局長が挨拶し、不当判決に屈せず闘う決意を参加者に伝えた。

集会では、呼びかけ人の和田肇（名古屋大学法学部教授）が、整理解雇の4要件を踏みにじる判決について、すべての労働者に影響を及ぼすものであること、JAL争議を支えることを熱く訴えた。支える愛知の会の事務局を、愛知陸・海・空・港湾労働者連絡会の事務局に関わる労組役員が担うこととなった。

総会前に駅頭宣伝

この総会前の12時から、激し



結成総会後の3・31労働者層決起集会

い風雨の中で40名をこえる参加者によるJR名古屋駅前での宣伝行動を取り組み、用意したビラ1000枚以上を配布した。この宣伝では、支援する会の呼びかけ人である松本篤周弁護士が、判決の不当性を訴えた。

連帯の取り組み

総会後、引き続き、「雇用とくらし・いのちをまもれ 3・31労働者決起集会」に、JAL原告を含む全員が参加し、全体で120名で決起集会とデモが行われた。集会では、労働者派遣法改正案の骨抜きを批判し、抜本改正を訴えるとともに、公務員イジメ、公務員賃金の引き下げ反対、そして消費税引き上げ反対などを訴えた。

この集会は、東海労働弁護団の呼びかけによるもので、正規・非正規、官・民とナショナルセンターの違いを超えて参加した。リーマン・ショック後から数えて5回目となる今集会は、雇用、JAL不当解雇など、労働をめぐる問題での連帯を示す行動として続いている。

入院、地震、火災、交通事故…一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しっかり組み合わせて幅広く保障します。



みんなで暮らしをガード 交運共済

家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

静岡から三陸へ、被災激励ミニSSL

三陸の宮古・大船渡・釜石市で乗車会を開催予定

国労静岡地方本部は、静岡県評などとともに、一よみがえれ三陸鉄道！被災地激励 ミニSSL運転実行委員会」を結成し、三陸鉄道の復旧や被災地への子供たちへ笑顔をお届けしようと、ミニSSLの乗車会を行うこととなった。

運転は、OBや現役組合員

鉄道員としての支援

東日本大震災から一年が経過したが、被災地の復興は住民が望んでいる状況には程遠く、鉄道も未だに寸断された状況が続いている。



被災者を乗せて走る予定の静岡・ミニSSL

このような状況の中で鉄道員としての支援が何か出来ないか

静岡地方本部植田書記長は、現地に打ち合わせに出向き感じたいことは、鉄道の復興と言っても簡単なことではなく、ましてや被災者の復興への気持ちなど様々なものがある中で行われるミニSSLの乗車会なのできちんとした準備の上に取り組みしていきたい。また、通り一遍の支援ではなく被災者や被災地が求めている復興を実現できるように今後も努力していくことが重要であると述べている。

また、この取り組みを行うにあたり、実行委員会と静岡地本からは、趣旨に賛同頂き、多くの組合員や家族、関係の機関からカンパをお願いするとしている。

なお、開催日時と場所は、
4月22日宮古市【宮古小学校校庭】10時から14時
4月23日大船渡市【成瀬近くシーパル駐車場】10時〜15時
4月24日釜石市【平田小学校校庭】10時〜12時

と声が上がりに、ミニSSLの乗車会を行い、三陸鉄道の復興の後押しと被災地の人々に鉄道の魅力と笑顔をお届けしようと実行委員会が発足された。

実行委員会では、被災地に向き、多くの被災者や自治体を訪ね、開催の趣旨を説明し、賛同・協力の要請を行ってきた。

要請を行う中で被災地のNP法人は、賛同を示し、三陸鉄道の本社へ橋渡しもしてくれた。結果、宮古市をはじめ各市から協力、三陸鉄道からの賛同と三陸鉄道の販売やマスコットキャラクター「三鉄くん」の握手会などと協賛の企画が行われることとなった。

開催地区のある静岡地方本部は、要請に応え現地スタッフで支えてくれることとなった。

記念品の準備も

当日は、懐かしい硬券で作成された記念乗車券を乗車の思い出にと、準備している。

被災地へむかう車両は、C57

型蒸気機関車1両をはじめ、電気機関車2両、客車6両を予定している。

58度目 3・1ビキニデー 核兵器のない平和な世界を誓う

核兵器のない平和な世界を誓う58度目の3・1ビキニデーが開催された。参加者は焼津駅南口に集合して登り旗や横断幕を掲げて、被爆して亡くなった久保山愛吉さんが眠る弘徳院までデモ行進を行い、墓地では慰霊祭が行われた。

国労から浜松支部2名、東部支部4名、静岡支部2名が参加し、組合旗を掲げて全国からの参加者と共に行動した。



久保山さんの墓地までのデモ

デモ行進は久保山愛吉さんが眠る弘徳院まで約3キロの道のりであった。1954年3月1日未明、アメリカはビキニ環礁で、水爆実験をおこない、焼津を母港とするまぐろ漁船「第五福龍丸」の乗組員はこの時全員が被爆した。その年の9月23日、無線長の久保山愛吉さんが「原水爆の犠牲者は私を最後に」と言い残して亡くなった。

それから58年間、毎年3月1日のデモ行進が続けられている。

この事件は、原水爆禁止の全国的運動を創りだす大きな契機になった。また、福島第一原発事故の放射能汚染で改めて核の恐ろしさを知ることになった。

(機関紙「国労浜松」より)

「がん」の保障		「生きる」を創る。Aflac	
〈生きるためのがん保険Days(デイズ)〉		生きるためのがん保険DAYS(デイズ)スタンダードプラン	
保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合		◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在) 入院給付金日額10,000円 定額タイプ保険料 払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)	
初めて診断確定されたとき	がんの場合 一時金として 100万円 上皮内新生物の場合 一時金として 10万円	35歳	45歳
入院したとき	1日につき 10,000円	男性	3,656円 5,608円 9,360円 15,190円
通院したとき	1日につき 10,000円	女性	3,734円 5,274円 6,864円 9,048円
手術したとき	1回につき 20万円	＜抗がん剤治療特約＞の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。	
放射線治療を受けたとき	1回につき 20万円	＜事業代理店＞ アベニール株式会社 AF007-2011-0186 4月25日 TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5交通ビル3F ＜引受保険会社＞アフラック 東京第三法人営業部 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 東京新橋に関するお問い合わせ・各種手続き コールセンター 0120-5555-95	
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療を受けた月ごとに 1カ月 (すべての保険期間を通し通算600万円まで) 10万円 乳がん・前立腺がんのホルモン療法の際 5万円		
放射線治療を受けたとき	1回につき 20万円		
訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)	訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)		
プレミアサポート	訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)		

●詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。